

国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成27年11月〇日 (〇)

2 学年・組 第5学年〇組

3 指導事項

(1) 読むこと (エ)

・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ (ケ)

・比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

4 単元名 物語の良さを解説しよう 「注文の多い料理店」(東京書籍 5年生)

5 言語活動

本を読んで、推薦の文章を書くこと。(2) エ

「宮沢賢治のすごさの解説リーフレットを書こう～注文の多い料理店～」

6 単元の評価規準と目指す児童の具体的な姿

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○物語の優れた叙述に関心を持ち、その描写の効果を見つけようとしている。	○登場人物の心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述の効果に気づき、自分の考えをリーフレットにまとめている。	○比喩や反復などの表現の工夫に気づき、その効果について自分の考えをリーフレットにまとめている。
○物語の優れた叙述に関心を持ち、「宮沢賢治のすごさの解説リーフレット」に解説する描写の効果を見つけようとしている。	○登場人物の心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述の効果に気づき、自分の考えを「宮沢賢治のすごさの解説リーフレット～注文の多い料理店～」として解説することができる。	○比喩や反復などの表現の工夫に気づき、その効果について自分の考えを「宮沢賢治のすごさの解説リーフレット～注文の多い料理店～」として解説することができる。

7 単元について

《児童の状況》

〔指導事項(1)エ〕登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。:

本学級の児童は、4年「ごんぎつね」で、中心となる人物とほかの人物との関わりについて考えたり、4年「走れ」で中心となる人物の気持ちの変化とその理由を考えて読んだりする学習をしている。他にも、叙述をもとに、人物の相互関係や心情、場面について読み取る学習を行ってきた。そのため、読み取る手がかりとなる文章を見つけ、それを基にして、人物の気持ちを想像することの楽しさは感じている様子が見られる。しかし、これまでの学習では、児童は、物語の文章を、自分が作品を読み取るためものとして捉えており、作者が工夫して表現しているものであるという見方をしたことはない。そのため、作品の中の優れた叙述や表現の工夫の良さに気づき、自分の考えを持つにはいたっていない。

〔指導事項（2）ケ〕 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。:

これまでの学習の中で、物語文の学習では、表現方法に着目することで、登場人物の気持ちをより深く想像したり、場面の状況をより詳しく捉えたりすることができることを経験している。また、5年の「詩をあじわおう」の学習では、比喩や反復の表現によって、文章に独特のリズムや世界観が生まれることを、感じ取っている。5年「不思議な世界へ出かけよう」では、場面の様子や人物の気持ちが伝わるように物語を書く学習をした。しかし、文章の表現の工夫そのものに対しては、あまり関心がなく、表現を工夫して文章を書くことができる児童は限られている。

《教材の価値》

「注文の多い料理店」:

山深いところにある『注文の多い料理店』を舞台として、2人の紳士と山猫の思惑の行き違いがユーモラスにえがかれている作品である。2人の紳士はごちそうを期待し、山猫は2人の紳士をごちそうとして食べられるように注文を繰り返す。最後に、紳士は身勝手な言動から消えることのない印を顔に付けられてしまう。都会文明に対する反感が自己中心的な2人の紳士に対する反感という形で表現されている。

戸の奥へ奥へと進んでいく期待感を味わいながら読み進むことができ、最後の結末のどんでん返しが、誰にでも分かりやすい楽しいお話である。文章や言葉に注目して読み進めることによって、児童は、さらに深く物語のおもしろさに気付くことができる。戸に書かれた言葉に二通りの意味があり、そのことが題名の意味にもつながっているなど、まるで作者がしかけた宝探しのゲームのようなおもしろさを感じながら、言葉に注目して読むことができると考える。また、宮沢賢治独特の描写が、作品に独特のユーモアと世界観を作り出しており、描写に注目させることで、作品をより深く味わうことができる作品である。

作者の宮沢賢治自身は、「糧に乏しい村のこどもらが都会文明と放埒な階級とに対する止むに止まれない反感です」（『注文の多い料理店』広告ちらし）と作品についてコメントしている。作者に注目してこの作品を読むと、ただ愉快な作品というだけでなく、登場人物や場面設定などにも、様々なメッセージがこめられていることに気付くことができる教材である。

（言語活動）本を読んで推薦の文章を書くこと。:

本単元では、「注文の多い料理店」の優れた描写を解説するリーフレットを作る言語活動を設定した。描写を解説するには、まず、優れた描写に気付くことが必要となる。そして、その描写によってどのような効果があるのかを考え、それを解説してリーフレットにまとめる。学習のまとめとして、友達が書いたリーフレットを読み合うことで、それぞれの読みの共通点や違いに気付く、読書への意欲を高めることにつなげたい。

《指導の工夫》

〔指導事項（1）エ〕 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。:

単元の始めに、単元マップを提示し、これからの学習の流れを掴ませる。また、「新見南吉のすごさを解説するリーフレット〜ごんぎつね〜」を提示し、学習のゴールを明確にして意欲を高めたい。読むこと（エ）の指導事項には、登場人物の相互関係・心情、場面の様子の三つがあげられているが、本教材の特徴を考慮し、心情と場面の様子の二つの描写を主に取り扱うこととし、リーフレットにもその二つの解説について触れたものを提示する。

児童が作るリーフレットには、本作品の優れた描写を紹介して解説させる。そのため、作者の宮沢賢治について、作品や生き方、時代背景などの概略をつかませる。作者を意識しながら読むことは、その優れた描写を見つける意欲につながると考える。しかし、学習の初めには、優れた描写に目をむけることができる児童は、少数であると考えられる。そのため、単元計画では、物語の順番に描写について考えさせるのではなく、場面を横断したり、順番を変えたりして取り組ませることによって、スムーズに学習が進むよう工夫したい。描写を解説するという学習の初めには、本作品のおもしろさとして児童が最も関心をもつであろう戸の描写について、解説をまとめていく活動を仕組む。その中で、楽しみながら解説を考えさせたい。それらの戸の描写の中で、どの表現がより優れているかを考えさせ、優れた描写を☆の数で評価させる。☆の数をつけて評価する活動によって、児童が自分なりに、より優れた表現を見つけようとする意欲につながると考える。そして、学習の中で書き溜めた解説から、単元の最後に自分が書きたい内容をそのなか

ら選んで書くことで、リーフレット作りに主体的に取り組ませたい。

また、リーフレットには、自分が選んだ描写を紹介するとともに、その描写がどのように優れているかを解説して書かせる。解説することにより、その描写についてその効果を考えることができる。しかし、優れている描写を見つけても、それをうまく解説することが難しい児童がいると考えられる。その場面で、ペアやグループでの学習を取り入れ、読みを伝え合うことができる場を仕組んでいきたい。

〔指導事項（２）ケ〕 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。：

児童が、宮沢賢治の他作品を読み比べることができるように、教室に40冊程度の本を準備し、平行読書できる環境を整える。宮沢賢治の他作品を平行読書することで、本教材と似ている描写に気づき、作者を意識して作品を読むことができると考える。児童が、平行読書している作品に、本教材と似ていると感じた描写を見つけたときには、そのページに、名前を書いた付箋紙を貼る。付箋紙が貼られることで、文章から似ている描写を見つけにくい児童にとって、描写に注目し、興味をもって作品を読むことにつながると考える。

8 単元計画

次	時	学 習 活 動 (評価方法)	観 点			
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
一	1	宮沢賢治について概略を知る。 「新美南吉のすごさを解説しよう～ごんぎつね～」を提示し、学習の見通しを立てる。 (ノート 発表)	○			
二	2	物語を場面分けする。 ～の紳士 としてあらすじを確認する。 (ノート 発表)		○		
	3	3～5場面の戸の描写の優れた書き方について解説する。 (ワークシート)	○	○		
	4・5	2場面から4場面の描写の(戸の描写以外)優れた書き方について解説する。 (ワークシート)		○	○	
	6	5場面の描写の優れた書き方について解説する。 (ワークシート)			○	
	7 本時	1場面の描写の優れた書き方について解説する。 (ワークシート)		○		
	8	6場面の描写の優れた書き方について解説する。 (ワークシート)		○	○	
	三	9・10	優れた書き方について解説したものを、2つ(～3つ)選んでリーフレットに解説する。 リーフレットを交流しよう。 (リーフレット・ワークシート)		○	

9 本時の目標（読む能力 第2次 7時）

- 1場面の優れた描写を見つけ、その効果を解説することができる。

10 学習展開（読む能力 第2次 7時）

学 習 活 動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法
<p>1 1場面のあらすじを確認する。</p>		
<p>1場面のすごい書き方を見つけて解説しよう</p>		
<p>2 班で一文読みをする。</p>		
<p>3 自分が「すごい」と思う描写を選び、線を引いて、その理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材をコピーしたものに、線を引かせ、理由を書かせる。 	
<p>4 班で「すごい」と思った描写の理由を話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の理由で共感するものは、ワークシートにつけ足して書く。 	
<p>5 「すごい」と思った描写と、その理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で、「すごい」と思った描写が確認できるように、拡大シートに線を引いていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表している描写が★比喩・反復かを確認する。 	
<p>6 解説したい描写について、解説文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解説の書き方について、今までにでたものを提示して参考に書かせる。 ・～を強調しているのがすごい。 ・・・・の言葉で～ということを表しているのがすごい。 	<p>A: 優れた描写を見つけ、その効果をくわしく解説することができる。</p> <p>B: 優れた描写を見つけ、その効果を解説することができる。</p>
<p>7 解説が書けたら、友達と解説を読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ描写を選んで解説を書いてある友達と読み合う。 	
<p>8 振り返りをする。</p>		<p>(評価方法) ワークシート 話合いの様子 発表</p>

